

Data(2017年9月現在)

所在地: 〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町西4-2-11

スタッフ: 照沼正子(教授), 市原千里(准教授),
永井健太(講師), 平塚久美子(助教), 中島富志子
(助手)

URL <http://www.tohto.ac.jp>



東都医療大学ヒューマンケア学部看護学科 公衆衛生看護学

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は、2009(平成21)年に看護の単科大学として埼玉県深谷市に開学しました。人間の生命や個人の尊厳に対する畏敬の念と、高い倫理観に裏打ちされた医療ケアの在り方を「ヒューマンケア」と捉え、このヒューマンケアを実践できる看護職の育成を目的としています。開学当初から助産師課程は選択制でしたが、2014(平成26)年度からは保健師課程も選択制となり、2つの国家試験受験資格取得に向けて意欲的な学生が集まります。また、本学では、2018(平成30)年度より管理栄養学部が深谷市に、幕張ヒューマンケア学部看護学科が千葉市に開設されることになりました。

Education

どのような教育をしていますか？

現行の保健師課程では2年次末に選抜試験を行い、可否決定直後から実習に向けて教育が開始されます。公衆衛生看護学実習は3年後期と4年前期に行う看護学領域実習と同時並行で実施し、特に4年次実習では、夏休み中も実習が続きます。今年度から導入した新カリキュラムにおける保健師課程では、看護師課程の実習を3年次で終了させ、4年次前期前半にかけて講義、演習、実習を実施する短期間集中型としました。教育内容の精選と学修の効率化につながることを期待しています。

Research

どのような研究をしていますか？

大学教員にとって、研究と教育は車の両輪であることは理解しつつも、日々の公衆衛生看護学教育にかなりの時間を投入せざるを得ない現状です。その中で、教員全体としては、公衆衛生看護学実習先である多様な実習機関の特性に応じて、学生が積極的に実習を展開できるような指導体制の工夫や、学びの分析、教育・実習の効果検証など、研究的視点をもって教育活動に取り組んでいます。また、教員個々の専門性により企業、学校、市町村など、それぞれ関連機関との連携の上、学内外の研究費を獲得しながら研究を進めています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

生き生きとした教育を展開するためには、教員自身が実践と理論との融合を果たしていくことが必要です。そのためにも現場の保健師の方々との連携を密にした相互理解は欠かせません。地域(主として行政)における各種計画策定への参画、健康づくり活動への参加、保健事業の評価など、地域連携・地域貢献は大学の使命でもあります。そうした使命を重視しつつ、大学という「知」の拠点を、地域で生活している方々にもっと気軽に活用していただけるよう交流の場を広げ、地域と大学の相互理解に向けて教職員一同で盛り上げていきたいと考えています。

ひとこと

開学してまだ9歳の若い大学です。実習等でご指導くださる看護職の皆様はもちろん、地域の方々からも温かく、時には厳しいご支援をいただきながら、学生、そして大学も成長しているところです。学生も教職員も地域社会の仲間として、ぜひとも温かく長い目で見守り育ていただけると嬉しいです。
……照沼

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場して下さる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ●電話, FAX, E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp